

■開催趣旨

防災・減災のために、家庭で・地域で・子ども会で何ができるか
何を備えるか、次代を担う子どもたちに伝えるためにみんなで考える

■期日

2014年6月28日(土) 13:15～16:10 (2時間55分)

■会場

神戸市青少年会館 6階 サークル3

■参加者

10名 (中学生3名、高校生3名、大学生3名、
および社会人青少年リーダー1名)

■概要

阪神・淡路大震災当時のまちの様子をスライドショーで鑑賞し、
被災体験を語り部(講師)に聞いた後、防災・減災に向けて、
自身や子ども会でできることを全員参加型の意見交換で考えた

■実施スケジュール

時間	内容
13:15	あいさつ つなぐ手プロジェクト実行委員 NPO法人こうべユースネット事務局長 辻幸志
13:20	オープニングスライド 「阪神淡路大震災って…」
13:30	語り部によるお話し 「災害からわが身を守る! 家族を守る!」
14:30	全員参加型即答フリップ方式ディスカッション 「考えてみよう! わたしができる災害への備え」
16:10	終了・事務連絡 NPO法人こうべユースネット事務局長

■語り部

元兵庫県防災監 青砥謙一 氏

■ワークショップ運営チーム

ファシリテーター 一般社団法人兵庫県子ども会連合会
事務局長 浅見真一
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 3名

■会場の様子



語り部のお話し



ディスカッション

■参加者の感想

- ・あらためて備えが大切だと分かった
- ・防災に対する意識が高まった
- ・生活にとりいれていかねば…
- ・あまり考えたことが無かったけど、今日考えたことを
今後に生かしたい
- ・歳の離れた人と話をして自分の視野が広がった
- ・自分の意見も言え、他人の意見も聞けてよかった
- ・自分はまだまだだなあ
- ・今日の日のことが生きる機会がないといいが、必ず生きる
日が来ることを実感
- ・防災についての思いが戻ってきた